

# ムーアカデミー通信



Aichi Kaisho Forest Center News Letter Vol.31 winter-spring 2015

写真：海上の森の雪景色



海上の森にも雪が積もり、  
一面雪景色となりました。  
ウグイスの「ホー、ホケキョ」と  
いう鳴き声が聞ける春が待ち  
遠いですね



写真：ウグイス

写真：遊歩施設の雪景色

## 特集 海上の森はいま

人と自然の共生国際フォーラム開催報告  
収穫感謝祭が行われました！



<あいがとうの輪プロジェクト ～森林保全活動～>

小林クリエイティブ(株)経営企画部CSR推進課 加藤久典さん

特集 海上の森はいま

人と自然の共生国際フォーラム  
The 8th International Forum on Interrelationship between Nature and Human Beings

開催報告

2007年から毎年開催している人と自然の共生国際フォーラムも第8回を迎えました。今年はメインテーマを「自然と共に歩む明日をつくろう」、サブテーマを「愛知の森林・里山から始める『持続可能な社会に向けた人づくり(ESD)』」とし、10月4日(土)と25日(土)の二日間に分けて開催しました。

今回は県内の森林・里山においてESDプログラムを実施する7団体に助成を行い、その活動状況の発表会と、一般の参加者も交えた意見交換会を10月4日に開催しました。発表会では里山のユニークな使い方を提案する魅力的な事業の紹介が行われ、引き続いての意見交換会では名古屋大学の田中隆文氏をファシリテーターに迎え、「生物多様性」「持続可能な暮らし」



「地域文化と先人の知恵」の三つのテーマで人と自然の共生について話し合いを行いました。

10月25日には助成を受けた7団体や中日新聞社主催「地球未来こども塾」参加の子供たちによる活動紹介を行った後、NPO法人森は海の恋人理事長の畠山重篤氏に「森は海の恋人 人の心に木を植える」と題した講演を行っていただきました。



つづくパネルディスカッションでは、コーディネーターに京都大学の川井秀一氏、コメンテーターに当センター名誉センター長のマリ クリスティーナ氏、パネリストに東栄町地域おこし協力

隊・燈栄隊の金城愛氏、愛知学泉大学の矢部隆氏、株式会社石川マテリアルの石川喜一郎氏を迎え、様々な立場から事例紹介および議論をしていただきました。

最後にパネルディスカッション出演者がフォーラム宣言案をとりまとめて提案し、会場の参加者全員の賛同により採択されました

今回の内容はホームページに詳しく掲載していますので、是非そちらもご覧ください。

ホームページ：<http://www.mu-academy.jp/forum/index.aspx>

収穫感謝祭が行われました！ 

海上の里で11月23日に、里と森の教室の収穫に感謝する恒例の収穫感謝祭が行われました。

海上の森サテライトで行われた収穫感謝祭には、里と森の教室参加者や海上の森の会会員など約230名が参加して、大人や子ども達が初めての餅つきに挑戦したり、つきたてのお餅や猪汁を食べたり楽しい晩秋の1日を過ごしました。



猪汁



子供餅つき



<あいがとうの輪プロジェクト ~森林保全活動~>

小林クリエイト(株) 経営企画部CSR推進課 加藤久典さん

当社は、創業以来70年以上にわたり印刷を業とし、森林資源の恵みを受け続けている企業の一員です。さらには企業人である前に地球の恵みを受ける一人でもあります。そこで2011年からあいち海上の森センターが企画している森林保全活動に応募し「小林クリエイト あいがとうの輪プロジェクト」と名付け活動を始めました。

最初の活動の時には、ここが愛知万博の会場候補地として注目を浴び、会場計画が見直され「愛知万博記念の森」として将来に渡って森林が保全される場所であるとの認識を新たにしました。

活動は年2回、春と秋に企画し、都度、参加者を募集しており1回20名程度3チームに別れ、海上の森の会・海上の森センターの方々の指導の下、作業を行います。

初めて体験する人は、木にはしごを掛け高所でのロープ掛け作業、受け口・追い口を入れるのこぎり作業、ロープ引きの倒木作業など想像以上にハード

で危険な作業といった印象です。しかし、その反面、普段の生活では味わえない自然の中での空気の美味しさや鳥のさえずりなどの雰囲気を楽しめます。また、担当する区画までの道のりで森の会の方から希少な植物など教えていただくのも一つの楽しみです。

今年で4年目を迎えますが、初めて森へ入った時と比べると下草刈り、間伐作業も進み光の差し込む美しい森へと変わってきていることが実感できます。

これからも、多くのメンバーにこの体験を広めて行きたいと思います。

**プロフィール** 西尾市在住。2012年9月より、現職。中心業務は認証取得済みのマネジメントシステムの運用・管理。多岐に渡るCSR活動のひとつとして、海上の森の森林保全活動に参加。



**森のなかま** ジョウビタキ

センター職員の随想リレー  
**かたりべのひと言**  
**「海上の森のなぜ？」**

森の中を歩いていると、このような鮮やかな鳥に出会うことがあります。これは「ジョウビタキ」という鳥で、冬になると海上の森に渡ってくる鳥です。

オスの体は鮮やかな橙色で、頭のとっぺんは灰色、頬と背中・羽は黒色、羽には白い斑紋があります。



メスはオスに比べると地味な色をしています。下腹部や尾羽は橙色をしています。



木の上や、電線などの高いところで「ヒッ、ヒッ」と鳴いたり、「カッ、カッ」という音を出したりしている姿や、オスとメスがつがいで行動している姿を観察することができます。

この鳥は、森の中だけでなく、市街地などでも見ることができます。海上の森や、家のまわりなどで探してみてくださいね！

私が初めて海上の森を歩いて気づいたことは、場所によって植生が全然違うことです。「なぜ」と思いながら歩いてみました。吉田川を中心とした南側はうっそうとした森林で、地面がこげ茶色をしているのに対し、屋戸川方面ではやせた貧弱な木々、地面には小石がごろごろと白っぽく、下草も少ないことに気がきました。

調べてみると、南側は花崗岩の風化した真砂土、一方の屋戸川方面は堆積した砂礫層からなることがわかりました。この違いが植生の違いに繋がっています。植生が違えばそこに生息する昆虫や動物も違ってくるのではないのでしょうか。

海上の森の中で「なぜ」と問いかけながら歩めば、更に楽しい1日が過ごせます。是非「なぜ」を楽しんでみてください。(Y. T)

# 展示の目玉

## あいち海上の森センター～これまでの取組と成果～

これまでに、あいち海上の森センターでは海上の森保全活用計画に基づき様々な取組を行ってきました。

現在、これまでの取組や成果、センターへの来館者数、海上の森への来場者数の動向などまとめたものを展示しています。

是非一度ご覧いただき、センターの活動内容や海上の森の保全活用についてご理解を深めていただければと思います。

また、あいち認証材を用いた木製衝立を作成しました。

あいち認証材とは愛知県内で産出されたこと、あるいは、それを加工した製材品であることを、愛知県産材認証機構が認証した木材、製材品です。展示室にて掲示等に利用しておりますので、こちらも合わせてご覧下さい。



あいち認証材マーク



## 平成27年度開催予定 海上の森体験学習プログラム

あいち海上の森センターでは、自然を身近に感じてもらうための体験学習プログラムを実施しています。来年度のプログラムでは、以下の内容を予定しています



### 里と森の教室

海上の里にある田畑や周辺の山林で、稲作や畑仕事、山仕事を体験して里山の魅力を学びます。

対象：小学生以上（小学生の場合、保護者同伴）



### 調査学習会

森の中を歩き、植物・昆虫・野鳥・キノコなど海上の森の自然について少し専門的に学習します。

対象：小学生以上（小学生の場合、保護者同伴）



### 森の楽校・森のようちえん

インタープリターと一緒に森に入り、自然と触れ合う楽しさを学びます。

対象：「森の楽校」は小学生以上(小学生の場合、保護者同伴)  
「森のようちえん」は幼児(保護者同伴)

※紹介した内容は変更されることがあります。詳細につきましては3月下旬発表予定です。お申し込みの際はあいち海上の森センターホームページ (<http://www.pref.aichi.jp/kaisho/>) または3月下旬以降にセンターおよび関連施設にて配布される体験学習プログラムをご確認下さい。



がオープンしました!

Twitter、Facebook に続き、YouTube でも情報発信を行います。海上の森で見られる動物やイベントの様子などを配信予定です。チャンネル登録を行っていただくと、新着動画の情報が届きますので、是非ご活用ください。サイトへのアクセスは YouTube 内で「あいち海上の森センター」と検索していただくか、海上の森ホームページからのリンク、QRコードを読み込んでください。



### 編集後記

寒さが厳しい時期ですが、森では葉っぱが落ちて野鳥の観察にはぴったりです。膨らみつつある冬芽からは春への準備がうかがえます。

編集・発行 あいち海上の森センター(ムーアカデミー)

発行日 平成27年2月28日

〒489-0857 瀬戸市吉野町 304-1

TEL: 0561-86-0606 FAX: 0561-85-1841

E-mail: kaisho@pref.aichi.lg.jp

URL: <http://www.pref.aichi.jp/kaisho/>



ホームページQRコード